

東海第二発電所 地震等に係る新規制基準適合性審査に関するコメントリスト

日付	ヒアリング / 審査会合	回数	コメント	資料名	コメント内容	回答
26.7.4	審査会合	122	1	主要な論点	敷地の地下構造を把握するのに実施した調査・分析について、特異な傾向の有無を確認するため、全ての評価結果を提示すること。	第232回審査会合「地下構造評価」においてご説明
26.7.4	審査会合	122	2	主要な論点	敷地内破砕帯について、その活動性の評価に係る詳細な調査結果を提示すること。	第232回審査会合「敷地の地質・地質構造」においてご説明
26.7.4	審査会合	122	3	主要な論点	敷地周辺陸域の断層の評価において、破砕帯の固結のみで活動性否定の根拠としている場合は、異なる手法による活動性否定の根拠も示すこと。	第194回審査会合「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
26.7.4	審査会合	122	4	主要な論点	原子炉建屋等の耐震重要施設に加え、重大事故等対処施設の基礎地盤及び周辺斜面の安定性評価に関わる検討内容を示すこと。	次回以降ご説明 (基礎地盤及び周辺斜面の評価)
26.7.4	審査会合	122	5	主要な論点	基準地震動 $S_s - D$ については、具体的な設定根拠を示すこと。	第243回審査会合「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
26.7.4	審査会合	122	6	主要な論点	F1断層と北方陸域の断層の同時活動性を考慮するに当たり、2011年東北地方太平洋沖地震の影響を踏まえF1断層の再評価の内容及び断層両端の止めに関する評価結果を提示すること。	第194回審査会合「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
26.7.4	審査会合	122	7	主要な論点	プレート間地震について、地震規模、震源領域等の設定に関わる検討内容を示すこと。	第243回審査会合「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
26.7.4	3	122	8	主要な論点	プレート内地震について、ディレクティブティ効果等を考慮した不確かさに関する検討内容を示すこと。	第276回審査会合「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
26.7.4	審査会合	122	9	主要な論点	2011年東北地方太平洋沖地震による敷地におけるはざとり波の応答スペクトルは、一部の周期帯で基準地震動を上回ったことを踏まえ、基準地震動や耐震設計の策定にあたり、どのような考慮がなされたか示すこと。	第243回審査会合「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
26.7.4	審査会合	122	10	主要な論点	「震源を特定せず策定する地震動」に関して、基準地震動評価ガイドにある地震観測記録収集対象事例の16地震について、観測記録等の分析・評価を実施すること。	ヒアリング45「震源特定せず策定する地震動」においてご説明
26.7.4	審査会合	122	11	主要な論点	敷地への降下火砕物等の堆積量に関して、詳細な評価結果を提示すること。	ヒアリング11及び49「火山影響評価」においてご説明
26.7.4	審査会合	122	12	主要な論点	津波の評価について、波源の位置、波源の特性等の設定に関わる検討内容を示すこと。	第320回審査会合「津波評価」においてご説明
26.7.4	審査会合	122	13	主要な論点	2011年東北地方太平洋沖地震に伴う津波により、施設が大きな損傷を受けたことを踏まえ、基準津波や耐津波設計の策定に当たり、どのような考慮がなされたか示すこと。	第320回審査会合「津波評価」においてご説明
26.7.4	審査会合	122	14	主要な論点	プレート間地震の波源として、2011年東北地方太平洋沖地震によって、宮城沖～福島沖の領域を含めないこととした検討内容を詳細に説明すること。	第320回審査会合「津波評価」においてご説明
26.7.15	ヒアリング	2	15	敷地周辺及び近傍	個々の断層評価に対する結果ではなく、まず全体像を表現した資料を用意し、別途、個々の断層評価に係る情報は補足資料等へ記載すること。	ヒアリング3「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造(その1)」においてご説明
26.7.15	ヒアリング	2	16	敷地周辺及び近傍	上載地層が無く、断層破砕部の固結度等のみから活動性を評価した断層は将来活動する可能性のある断層等として取り扱うと説明しているが、説明資料の個別断層の評価では、断層破砕部の固結度等のみに基づいて活動性を否定しているものもある。断層破砕部の固結度等以外の判断根拠も併せて説明すること。	ヒアリング3「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造(その1)」においてご説明
26.7.15	ヒアリング	2	17	敷地周辺及び近傍	陸域における反射法地震探査断面図(Line-A, Line-1, Line-2)を拡大して表示するとともに、解釈線の無い図面も併せて提示すること。	ヒアリング3「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造(その1)」においてご説明
26.7.15	ヒアリング	2	18	敷地周辺及び近傍	棚倉破砕帯西縁断層(の一部)百目木地点で、かつて記載されていたM2面が無くなった(変更した)理由を説明するとともに、現在記載されているH面については、年代を特定した詳細な根拠を提示すること。	ヒアリング3「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造(その1)」においてご説明
26.7.15	ヒアリング	2	19	敷地周辺及び近傍	棚倉破砕帯西縁断層(の一部)南部では、断層破砕部の固結度等のデータしかないため、中染～原東方までを将来活動する可能性のある断層等と取り扱っているが、中染地点より更に南方の調査結果が示されていないことから、端部の判断根拠が分からない。より南方の調査結果及び考え方があるのであれば提示すること。	ヒアリング3「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造(その1)」においてご説明
26.7.15	ヒアリング	2	20	敷地周辺及び近傍	棚倉破砕帯南側延長部、久慈川下流域の活構造存在の可能性確認のため、敷地周辺地域の段丘面の高度分布図を提示し、後期更新世以降の変動地形を明らかにすること。	ヒアリング3「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造(その1)」においてご説明
26.9.29	ヒアリング	3	21	敷地周辺及び近傍	微小地震及び中小地震の地震分布図を最新のデータに基づき提示すること。	ヒアリング6「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造(その1)」においてご説明
26.9.29	ヒアリング	3	22	敷地周辺及び近傍	各断層評価について分かりやすく説明すること。	ヒアリング6「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造(その1)」においてご説明
26.9.29	ヒアリング	3	23	敷地周辺及び近傍	百目木地点の段丘をH面とした根拠を示すこと。	ヒアリング6「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造(その1)」においてご説明
26.9.29	ヒアリング	3	24	敷地周辺及び近傍	原東方以南の調査結果を示すこと。	ヒアリング6「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造(その1)」においてご説明
26.9.29	ヒアリング	3	25	敷地周辺及び近傍	関口-黒磯リアメント付近において、「新編 日本の活断層(1991)」、「活断層詳細デジタルマップ(2002)」以外の文献を確認すること。	ヒアリング6「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造(その1)」においてご説明
26.9.29	ヒアリング	3	26	敷地周辺及び近傍	高根リアメントの南端部では、高位段丘面の西方に比較的平坦な地形があるが、この地形が高位段丘面か否かについて再確認すること。	ヒアリング6「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造(その1)」においてご説明

東海第二発電所 地震等に係る新規制基準適合性審査に関するコメントリスト

日付	ヒアリング / 審査会合	回次	コメント	資料名	コメント内容	回答
26.9.29	ヒアリング	3	27	敷地周辺及び近傍	鹿島台地・行方台地周辺における段丘面をM1面とした根拠を説明すること。	ヒアリング6「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造(その1)」においてご説明
26.9.29	ヒアリング	3	28	敷地周辺及び近傍	重力異常図は、可能であれば沈み込み帯の影響を除去したものを提示すること。	ヒアリング8「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
26.9.29	ヒアリング	4	29	敷地周辺及び近傍	「高柳」文献について詳細に説明すること。	ヒアリング6「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造(その2)」においてご説明
26.9.29	ヒアリング	4	30	敷地周辺及び近傍	海域断層のグループ毎の特徴を示すこと。	ヒアリング6「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造(その2)」においてご説明
26.9.29	ヒアリング	4	31	敷地周辺及び近傍	F4断層の南方陸域についても、他機関で実施した陸域の反射データを確認しておくこと。	ヒアリング6「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造(その2)」においてご説明
26.9.29	ヒアリング	4	32	敷地周辺及び近傍	塩ノ平地断層については応力解放したとしているが、井戸沢断層についても説明すること。	ヒアリング6「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造(その2)」においてご説明
26.9.29	ヒアリング	4	33	敷地周辺及び近傍	断層の評価に用いた代表的な海上音波探査記録の他に敷地周辺海域の海上音波記録も追加提示すること。	ヒアリング6「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造(その2)」においてご説明
26.9.29	ヒアリング	4	34	敷地周辺及び近傍	地震の震源分布及び発震機構解を示し、以下のリニアメント等との関連性について説明すること。 ・棚倉破砕帯東縁断層付近の推定活断層の北方 ・関口-黒磯リニアメント付近 ・海域断層(F10断層,F8断層)付近	ヒアリング8「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
26.9.29	ヒアリング	4	35	敷地周辺及び近傍	北方陸域断層を正断層の地震として検討していることの根拠(メカニズム)を説明すること。	ヒアリング43「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
27.1.13	ヒアリング	6	36	敷地周辺及び近傍	地震分布図は断面も提示すること。	ヒアリング7「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
27.1.13	ヒアリング	6	37	敷地周辺及び近傍	審査資料の最後には文献リストをつけること。	ヒアリング7「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
27.1.13	ヒアリング	6	38	敷地周辺及び近傍	芦間町南方で実施した調査について、sg層の年代観を確認すること。	ヒアリング8「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
27.1.13	ヒアリング	6	39	敷地周辺及び近傍	芦間町南方で実施した調査について、ボーリング調査結果と地質分布の関係を説明すること。	ヒアリング8「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
27.1.13	ヒアリング	6	40	敷地周辺及び近傍	高根リニアメント付近のH段丘面の西側の地形について、可能であれば地質情報を追加すること。	ヒアリング7「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
27.1.13	ヒアリング	6	41	敷地周辺及び近傍	Fukushima et al.(2013)において検討された、収斂しないモデルが記載されているか確認すること。	ヒアリング7「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
27.1.19	ヒアリング	7	42	敷地周辺及び近傍	地震分布図については、平面図の表示範囲は深度20kmまでとしているのに対し、断面図は深度120kmとなっている。深度を合わせること。	ヒアリング8「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
27.1.19	ヒアリング	7	43	敷地周辺及び近傍	敷地西方の段丘面をM1面と認定した根拠を示すこと。	ヒアリング8「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
27.1.19	ヒアリング	7	44	敷地周辺及び近傍	芦間町南方における棚倉破砕帯西縁断層近傍の地形について、より詳細な情報を提示すること。	ヒアリング8「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
27.1.19	ヒアリング	7	45	敷地周辺及び近傍	芦間町南方露頭の断層の性状を詳細に示すこと。	第194回審査会合「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
27.1.19	ヒアリング	7	46	敷地	段丘堆積物の年代に関する情報があれば示すこと。	ヒアリング8「敷地の地質・地質構造」においてご説明
27.1.19	ヒアリング	7	47	敷地	久米層上面の標高分布を示すこと。	ヒアリング8「敷地の地質・地質構造」においてご説明
27.1.19	ヒアリング	7	48	敷地	面なし断層の状況について説明すること。	ヒアリング8「敷地の地質・地質構造」においてご説明
27.1.29	ヒアリング	8	49	敷地周辺及び近傍	百目木地点に西傾斜地形を形成するような逆断層が無いことの根拠として、斜めボーリング(E5孔)のコア写真等があれば示すこと。	第194回審査会合「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
27.1.29	ヒアリング	8	50	敷地周辺及び近傍	芦間町南方以南について、DEMと地形面区分図を対比できるように示すこと。	第194回審査会合「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
27.1.29	ヒアリング	8	51	敷地	段丘堆積物の認定根拠を説明すること。	ヒアリング12「敷地の地質・地質構造」においてご説明
27.1.29	ヒアリング	8	52	敷地	耐震クラス及び常設S施設の配置図を資料に反映すること。	ヒアリング12「敷地の地質・地質構造」においてご説明
27.1.29	ヒアリング	8	53	地下構造	解放基盤表面の設定根拠について説明すること。	ヒアリング14「地下構造評価」においてご説明
27.1.29	ヒアリング	8	54	地下構造	地震観測や屈折法地震探査に用いた機器仕様や観測波形を示すこと。	ヒアリング14「地下構造評価」においてご説明
27.1.29	ヒアリング	8	55	地下構造	地震波到来方向の検討に用いた地震観測記録の震源位置、方位角、見かけの入射角を記載すること。	ヒアリング12「地下構造評価」においてご説明

東海第二発電所 地震等に係る新規制基準適合性審査に関するコメントリスト

日付	ヒアリング / 審査会合	回次	コメント	資料名	コメント内容	回答
27.1.29	ヒアリング	8	56	地下構造	地震波到来方向の検討について、地震の発生地域の観点で地震観測記録を分類して検討するとともに、全ての応答スペクトル比を示すこと。	ヒアリング 12「地下構造評価」においてご説明
27.1.29	ヒアリング	8	57	地下構造	解析的検討において南北断面の検討結果を示すこと。	ヒアリング 12「地下構造評価」においてご説明
27.1.29	ヒアリング	8	58	地下構造	解析に用いた入力地震波が平面波で良いことを説明すること。	ヒアリング 12「地下構造評価」においてご説明
27.1.29	ヒアリング	8	59	地下構造	1次元解析結果と2次元解析結果における波形の振幅の違いを説明すること。	ヒアリング 12「地下構造評価」においてご説明
27.1.29	ヒアリング	8	60	地下構造	バックチェックで用いた地盤モデルについて記載すること。	ヒアリング 14「地下構造評価」においてご説明
27.2.13	審査会合	194	61	敷地周辺及び近傍	地震活動について、震源分布と以下のリニアメント及び地質構造との関係について整理し、その評価について丁寧に説明すること。 ・棚倉破砕帯東縁断層付近の推定活断層の北方 ・海域断層(F10断層,F8断層)付近	第334回審査会合「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
27.2.13	審査会合	194	62	敷地周辺及び近傍	棚倉破砕帯西縁断層(の一部)及び棚倉破砕帯東縁付近の推定活断層端部について、変動地形学的調査結果、地表地質調査結果をより詳細に示し、地質断層との関係も含めて、丁寧に説明すること。	第334回審査会合「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
27.2.13	審査会合	194	63	敷地周辺及び近傍	芦間町南方露頭の断層の活動性の評価について、丁寧に説明すること。	第334回審査会合「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
27.2.13	審査会合	194	64	敷地周辺及び近傍	芦間町南方以南において、地球物理学的調査記録、地形の詳細情報等を用いて、棚倉破砕帯の伏在する位置及び地形との関係を丁寧に説明すること。	第334回審査会合「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
27.2.13	審査会合	194	65	敷地周辺及び近傍	海上音波探査記録のうち、測線No.18Wにみられる伏在的な背斜構造の活動性について、近傍の測線No.16Wで認められている断層との関係を含めて説明すること。	第334回審査会合「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
27.2.13	審査会合	194	66	敷地周辺及び近傍	F1と北方陸域の断層は応力解放だけで同時活動性を否定することの是非について、塩ノ平断層の情報を踏まえて、次回以降に議論する。	第334回審査会合「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
27.2.25	ヒアリング	9	67	震源特定地震動(概要)	経験的グリーン関数法の評価で用いた要素地震について記載すること。	ヒアリング 15「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
27.2.25	ヒアリング	9	68	震源特定地震動(概要)	応答スペクトルに基づく手法による地震動評価に用いる補正係数については、各検討用地震の選定結果の頁に入れること。	ヒアリング 15「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
27.2.25	ヒアリング	9	69	震源特定地震動(プレート間)	断層モデルを用いた手法による地震動評価結果(基本震源モデル)と東北地方太平洋沖地震の解放基盤波を比較すること。	ヒアリング 10「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
27.3.9	ヒアリング	10	70	震源特定地震動(プレート間)	プレート間地震について、中央防災会議(2004)の茨城県南部の地震以外の震源域の影響を示すこと。	ヒアリング 13「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
27.3.9	ヒアリング	10	71	震源特定地震動(プレート間)	応答スペクトルに基づく手法による地震動評価で用いる補正係数については、用いた地震の諸元と各地震の残差を記載すること。	ヒアリング 13「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
27.3.9	ヒアリング	10	72	震源特定地震動(プレート間)	プレート間地震に関し断層パラメータの設定フローを加え、設定根拠を明確に記載すること。	ヒアリング 13「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
27.3.9	ヒアリング	10	73	震源特定地震動(プレート間)	東北地方太平洋沖地震の本震の断層モデルを用いた手法による地震動評価について、茨城県沖のアスペリティを敷地に近づけることで等価震源距離がどの程度変わるのかを示すこと。	ヒアリング 13「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
27.3.9	ヒアリング	10	74	震源特定地震動(プレート間)	東北地方太平洋沖地震の本震に関して、解放基盤波と経験的グリーン関数法に基づく地震動評価結果、統計的グリーン関数法に基づく地震動評価結果を併記すること。	ヒアリング 13「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
27.3.9	ヒアリング	10	75	震源特定地震動(プレート間)	震源を特定して策定する地震動による基準地震動Ssについては、加速度応答スペクトルでも示すこと。	ヒアリング 13「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
27.3.9	ヒアリング	10	76	震源特定地震動(プレート内)	世界の巨大海洋プレート内地震について、2004年以降に発生した大規模な地震を踏まえた検討を示すこと。	ヒアリング 16「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
27.3.9	ヒアリング	10	77	震源特定地震動(プレート内)	敷地周辺の地震分布図に関して、海洋プレート内地震に関する発生状況を示すこと。	ヒアリング 16「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
27.3.9	ヒアリング	10	78	震源特定地震動(プレート内)	1921年茨城県龍ケ崎付近の地震に関する震度分布について確認すること。	ヒアリング 16「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
27.3.9	ヒアリング	10	79	震源特定地震動(プレート内)	アウトターライズ地震の影響について確認すること。	ヒアリング 16「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
27.3.9	ヒアリング	10	80	震源特定地震動(プレート内)	地震本部(2009)による評価について、陸域側の領域の影響だけでなく、海域側の領域の影響についても検討すること。	ヒアリング 16「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
27.3.23	ヒアリング	11	81	火山	個々の火山について、噴火規模等のデータや活動履歴に関するダイアグラムも作成し、説明すること。	ヒアリング 49「火山影響評価」においてご説明
27.3.30	ヒアリング	12	82	敷地	久米層上面の分布標高の根拠を示すこと。	ヒアリング 14「敷地の地質・地質構造」においてご説明
27.3.30	ヒアリング	12	83	敷地	段丘堆積物の認定根拠を詳細に説明すること。	ヒアリング 14「敷地の地質・地質構造」においてご説明
27.3.30	ヒアリング	12	84	敷地	「面なし断層」の具体的性状について追記すると共に定量的な記載が可能かも併せて検討すること。	ヒアリング 14「敷地の地質・地質構造」においてご説明
27.3.30	ヒアリング	12	85	敷地	耐震Sクラス及び常設SA施設の配置図について、本編に記載すること。	ヒアリング 14「敷地の地質・地質構造」においてご説明

東海第二発電所 地震等に係る新規制基準適合性審査に関するコメントリスト

日付	ヒアリング / 審査会合	回次	コメント	資料名	コメント内容	回答
27.4.22	ヒアリング	13	86	震源特定地震動(プレート間)	東北地方太平洋沖地震の本震の断層モデルを用いた手法による地震動評価について、経験的グリーン関数法評価で用いた要素地震の時刻歴波形を記載すること。	ヒアリング15「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
27.4.22	ヒアリング	13	87	震源特定地震動(プレート間)	東北地方太平洋沖地震の本震に関する地震動評価において、世界の巨大プレート間地震に関する知見を、どのように反映したのかを記載すること。	ヒアリング15「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
27.5.18	ヒアリング	14	88	敷地	耐震スクラス施設と常設SA施設を区別して記載すること。	第232回審査会合「敷地の地質・地質構造」においてご説明
27.5.18	ヒアリング	14	89	敷地	段丘堆積物(D2)および沖積層の基底高度差の解釈について説明すること。	第232回審査会合「敷地の地質・地質構造」においてご説明
27.5.18	ヒアリング	14	90	敷地	鍵層の等深線図を示すこと。	第232回審査会合「敷地の地質・地質構造」においてご説明
27.5.18	ヒアリング	14	91	敷地	本資料と補足説明資料間の断面名称の整合を図ること。	第232回審査会合「敷地の地質・地質構造」においてご説明
27.5.18	ヒアリング	14	92	地下構造	KiK-net観測点(ひたちなか)を含めた地質図を示すこと。	第232回審査会合「地下構造評価」においてご説明
27.5.18	ヒアリング	14	93	地下構造	各ボーリングの検層結果及び地質柱状図を示すこと。	第232回審査会合「地下構造評価」においてご説明
27.5.29	審査会合	232	94	敷地	敷地全体の地質構造については、岩相、「癒着して固結した面構造」、火山灰分析結果などの情報も併せて示すこと。	第402回審査会合「敷地の地質・地質構造」においてご説明
27.5.29	審査会合	232	95	敷地	敷地の東側や北側の地質情報を追加で示すこと。	第402回審査会合「敷地の地質・地質構造」においてご説明
27.5.29	審査会合	232	96	敷地	敷地周辺及び敷地近傍の地質情報を示すこと。	第402回審査会合「敷地の地質・地質構造」においてご説明
27.5.29	審査会合	232	97	地下構造	解析的検討において、二次元FEMモデルの要素サイズを細かくするとともに、表層の影響も含めて敷地内の地下構造が水平成層とみなせることを説明すること。	第291回及び第338回審査会合「地下構造評価」においてご説明
27.5.29	審査会合	232	98	地下構造	吉田ほか(2005)を参考に、浅部の地盤構造による解放基盤表面での地震動への影響について検討すること。	第291回審査会合「地下構造評価」においてご説明
27.5.29	審査会合	232	99	地下構造	発電所直下の地盤モデルについて説明すること。	第291回審査会合「地下構造評価」においてご説明
27.6.26	審査会合	243	100	震源特定地震動(プレート間)	東北地方太平洋沖地震による敷地での揺れを再現する断層パラメータを基本ケースとすることの妥当性を説明すること。また、基本ケースの設定と関連して、考慮した不確かさの妥当性についても説明すること。	第336回審査会合「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
27.6.26	審査会合	243	101	震源特定地震動(プレート間)	断層モデルの巨視的面等について、設定の妥当性を説明すること。	第336回審査会合「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
27.6.26	審査会合	243	102	震源特定地震動(プレート間)	断層モデルのアスペリティ面積比、応力降下量等の設定の妥当性を説明すること。	第336回審査会合「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
27.6.26	審査会合	243	103	震源特定地震動(プレート間)	要素地震の選定プロセスを記載し、説明資料を充実させること。	第336回審査会合「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
27.6.26	審査会合	243	104	震源特定地震動(プレート間)	断層モデルを用いた手法による地震動評価結果について、アスペリティ毎の寄与度について示すこと。	第336回審査会合「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
27.6.26	審査会合	243	105	震源特定地震動(プレート間)	複数の破壊開始点について検討し、影響の度合いを検討すること。	第336回審査会合「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
27.8.26	ヒアリング	16	106	震源特定地震動(プレート内)	検討用地震の選定のプロセスについて詳細に説明すること。(No.110と同種のコメント)	第276回審査会合「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
27.8.26	ヒアリング	16	107	震源特定地震動(プレート内)	断層パラメータのうち密度の設定根拠を示すこと。	第276回審査会合「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
27.8.26	ヒアリング	16	108	震源特定地震動(プレート内)	基本震源モデルの設定で、中央防災会議(2004)のほかに最新の知見も踏まえ、数値の妥当性について検討すること。(No.111と同種のコメント)	ヒアリング19「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
27.9.18	審査会合	276	109	震源特定地震動(プレート内)	応答スペクトルに基づく手法に用いる補正係数について、詳細に記載すること。	第324回審査会合「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
27.9.18	審査会合	276	110	震源特定地震動(プレート内)	検討用地震の選定プロセスについて詳細に説明すること。(No.106と同種のコメント)	第324回審査会合「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
27.9.18	審査会合	276	111	震源特定地震動(プレート内)	基本震源モデルを中央防災会議(2004)に基づき設定しているが、中央防災会議(2004)以降の知見も考慮し、断層パラメータの検討を行うこと。(No.108と同種のコメント)	第324回審査会合「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
27.9.18	審査会合	276	112	震源特定地震動(プレート内)	断層モデルの巨視的面等について、設定の妥当性を説明すること。	第324回審査会合「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
27.9.18	審査会合	276	113	震源特定地震動(プレート内)	要素地震の応力降下量の見積りについて、説明資料を充実させること。	第324回審査会合「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明

東海第二発電所 地震等に係る新規制基準適合性審査に関するコメントリスト

日付	ヒアリング / 審査会合	回次	コメント	資料名	コメント内容	回答
27.9.18	審査会合	276	114	震源特定地震動(プレート内)	経験的グリーン関数法の妥当性の確認のため、断層モデルを用いた手法については、統計的グリーン関数法を実施すること。	第324回審査会合「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
27.10.21	ヒアリング	17	115	震源特定地震動(プレート間)	震源パラメータの妥当性について、審査会合でのコメントの趣旨を踏まえて、基本震源モデルの作成から不確かさの考慮までトータルで説明すること。	ヒアリング 25「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
27.10.21	ヒアリング	17	116	震源特定地震動(プレート間)	破壊開始点の設定の考え方について説明すること。	ヒアリング 21「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
27.10.26	ヒアリング	19	117	震源特定地震動(プレート内)	茨城県南部の地震に関する中央防災会議(2004)と中央防災会議(2013)の知見について、基本震源モデルの位置づけ、不確かさの検討項目の考え方を整理すること。	ヒアリング 23「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
27.10.26	ヒアリング	19	118	震源特定地震動(プレート内)	茨城県南部の地震について、中央防災会議(2004)と中央防災会議(2013)の各震源モデルや要素地震を比較し示すこと。	ヒアリング 23「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
27.10.26	ヒアリング	19	119	震源特定地震動(プレート内)	断層深さと海洋性地殻、海洋性マントルの対応について説明すること。	ヒアリング 23「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
27.10.26	ヒアリング	19	120	震源特定地震動(プレート内)	断層パラメータの設定フローについて、設定根拠を詳細に記載すること。	ヒアリング 23「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
27.10.26	ヒアリング	19	121	震源特定地震動(プレート内)	波形合成法について、どの手法を用いて評価しているかを明記すること。	ヒアリング 23「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
27.10.26	ヒアリング	19	122	震源特定地震動(プレート内)	中央防災会議(2013)の茨城県南部の地震について、応答スペクトルに基づく手法による地震動評価を実施すること。	ヒアリング 23「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
27.11.6	審査会合	291	123	地下構造	屈折法地震探査による速度構造と重力異常の関係性について説明すること。	第338回審査会合「地下構造評価」においてご説明
27.11.24	ヒアリング	20	124	敷地周辺及び近傍	資料全般について、前回までの資料も含めて取り纏めること。	ヒアリング 26及び27「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
27.11.24	ヒアリング	20	125	敷地周辺及び近傍	棚倉破砕帯の付近、海域断層の付近、銚子付近の地震活動に関する見解を説明すること。	ヒアリング 26及び27「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
27.11.24	ヒアリング	20	126	敷地周辺及び近傍	震源断面図に地表断層の位置を記載すること。	ヒアリング 26及び27「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
27.11.24	ヒアリング	20	127	敷地周辺及び近傍	銚子付近の地震活動の要因について、他の文献も参照すること。	ヒアリング 26及び27「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
27.11.24	ヒアリング	20	128	敷地周辺及び近傍	棚倉破砕帯東縁断層北方及び棚倉破砕帯西縁断層の芦間町東方について、不整合露頭の写真に加えてスケッチも示すこと。	ヒアリング 26及び27「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
27.11.24	ヒアリング	20	129	敷地周辺及び近傍	天神林町付近における反射法地震探査範囲に対応するM1段丘面の分布状況を説明すること。	ヒアリング 26及び27「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
27.11.24	ヒアリング	20	130	敷地周辺及び近傍	原東方のL1段丘面について、人工改変の状況、火山灰分析結果を説明すると共に、走向線図とL1段丘面を重ね描いた図を示すこと。	ヒアリング 26及び27「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
27.11.24	ヒアリング	20	131	敷地周辺及び近傍	棚倉破砕帯東縁断層北方の段彩陰影図における殿山西方の地形について、地質情報を追加で示すこと。	ヒアリング 26及び27「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
27.11.24	ヒアリング	20	132	敷地周辺及び近傍	芦間町南方露頭の北方の露頭についてもスケッチ等を示すこと。	ヒアリング 26及び27「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
27.11.24	ヒアリング	20	133	敷地周辺及び近傍	天神林町付近について、M1段丘面の西端の傾斜変換点に見える箇所的狀況を説明すること。	ヒアリング 26及び27「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
27.11.24	ヒアリング	20	134	敷地周辺及び近傍	棚倉破砕帯西縁断層に並走する断層と天神林町付近のM1段丘面との関係を説明すること。	ヒアリング 26及び27「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
27.11.24	ヒアリング	20	135	敷地周辺及び近傍	F1断層及び北方陸域断層の同時活動性評価の考え方を再整理し説明すること。	ヒアリング 26及び27「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
27.11.24	ヒアリング	20	136	敷地周辺及び近傍	海域断層におけるAグループの評価について説明すること。	ヒアリング 26及び27「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
27.11.24	ヒアリング	20	137	敷地周辺及び近傍	鹿島台地・行方台地周辺の活傾動について、M1段丘堆積物の堆積状況や近傍のM2, M3段丘面の分布状況を説明すること。	ヒアリング 26及び27「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
27.12.7	ヒアリング	21	138	震源特定地震動(プレート間)	プレート間地震の震源モデルにおけるアスペリティ配置の設定根拠について、考え方を整理して説明すること。	ヒアリング 25「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
27.12.7	ヒアリング	21	139	震源特定地震動(プレート間)	プレート間地震の震源モデルにおける短周期レベルの設定根拠を不確かさの検討も含めて、整理すること。	ヒアリング 25「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
27.12.8	ヒアリング	22	140	津波	設置変更許可申請書と比較して付記したもの。また、申請時以降に追加検討を行ったものについて、分かるように明記すること。	ヒアリング 26「津波評価」においてご説明
27.12.8	ヒアリング	22	141	津波	選定された基準津波について、波源設定条件も付記すること。また、基準津波策定位置の深さ海岸からの距離を明記すること。	ヒアリング 24「津波評価」においてご説明
27.12.8	ヒアリング	22	142	津波	津波評価における計算条件及び計算領域について、再現解析に用いるものか津波評価に用いるものかなど、再度整理して説明すること。	ヒアリング 24「津波評価」においてご説明

東海第二発電所 地震等に係る新規制基準適合性審査に関するコメントリスト

日付	ヒアリング / 審査会合	回次	コメント	資料名	コメント内容	回答
27.12.8	ヒアリング	22	143	津波	各パラメータスタディについて、評価点毎の津波水位を示すこと。	ヒアリング 24「津波評価」においてご説明
27.12.8	ヒアリング	22	144	津波	津波評価における地殻変動量の考慮に関して詳細に説明すること。	ヒアリング 26「津波評価」においてご説明
27.12.8	ヒアリング	22	145	津波	茨城県沖及び茨城県沖から房総沖に想定する特性化震源モデルの断層位置設定に関して、南限の設定根拠及び考え方を提示すること。	ヒアリング 26「津波評価」においてご説明
27.12.8	ヒアリング	22	146	津波	茨城県沖から房総沖に想定する特性化震源モデル(Mw8.7)の設定において、Mw8.9未満で超大すべり域を考慮した考え方を詳細に明記すること。また、大すべり域及び超大すべり域の面積比を示すこと。	ヒアリング 24「津波評価」においてご説明
27.12.8	ヒアリング	22	147	津波	茨城県沖から房総沖に想定する特性化震源モデル(Mw8.7)における破壊開始点及び破壊伝播速度の検討において、大すべり域の中央端部にある点で最大水位上昇量を示しているが、より詳細に分析する必要がないか等について、検討すること。	ヒアリング 24「津波評価」においてご説明
27.12.8	ヒアリング	22	148	津波	海底地すべり地形の抽出及び評価について、詳細を示すこと。	ヒアリング 26「津波評価」においてご説明
27.12.8	ヒアリング	22	149	津波	行政機関による津波評価に関する検討は、基準津波との比較検討ではなく、基準津波選定に係る津波評価の一つとして位置付けること。	ヒアリング 24「津波評価」においてご説明
27.12.8	ヒアリング	22	150	津波	特性化震源モデルによる津波痕跡高の再現性について、津波高グラフは評価点位置順(例えば、北・南)に並べるなど、工夫すること。	ヒアリング 24「津波評価」においてご説明
27.12.8	ヒアリング	22	151	津波	取水口、海水ポンプ、及び防潮堤の位置関係等について、詳細に説明すること。また、取水口における上昇水位量についても示すこと。	ヒアリング 24「津波評価」においてご説明
27.12.22	ヒアリング	23	152	震源特定地震動(プレート内)	断層設定位置の考え方について、詳細に説明すること。	ヒアリング 25「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
27.12.22	ヒアリング	23	153	震源特定地震動(プレート内)	震源モデルのずれの方向を横ずれとした根拠を説明すること。また、断層傾斜角の不確かさの設定の考え方を説明すること。	ヒアリング 25「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
27.12.22	ヒアリング	23	154	震源特定地震動(プレート内)	統計的グリーン関数法による評価結果について、考察を記載すること。	ヒアリング 25「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
27.12.22	ヒアリング	23	155	震源特定地震動(プレート内)	地震動評価結果については速度時刻歴波形も示すこと。	ヒアリング 25「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
28.1.5	ヒアリング	24	156	津波	より説明性を向上させるため、検討のプロセスや考え方を資料に記載すること。	ヒアリング 26「津波評価」においてご説明
28.1.12	ヒアリング	25	157	震源特定地震動(プレート内)	震源モデルのずれの方向を横ずれとした根拠について文献等から引用し詳細に記載すること。	第324回審査会合「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
28.1.12	ヒアリング	25	158	震源特定地震動(プレート間)	東北地方太平洋沖地震の各震源モデルに対し、敷地近くのSMGAにおけるパラメータ比較をすること。	ヒアリング 28「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
28.1.12	ヒアリング	25	159	震源特定地震動(プレート間)	経験的グリーン関数法の評価結果の長周期成分において、東北地方太平洋沖地震の解放基盤波よりも下回っていることについて考察すること。	ヒアリング 28「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
28.1.22	審査会合	320	160	津波	チリ地震津波、千島海溝沿いの地震津波、明治三陸沖地震津波の扱いについて示すこと。	第390回審査会合「津波評価」においてご説明
28.1.22	審査会合	320	161	津波	東北地方太平洋沖型の津波波源の大すべり域の南限の設定の考え方を、より明確に示すこと。	第390回審査会合「津波評価」においてご説明
28.1.22	審査会合	320	162	津波	茨城県沖に想定する津波波源の北端の設定の考え方を、より明確に示すこと。	第390回審査会合「津波評価」においてご説明
28.1.22	審査会合	320	163	津波	基準津波の選定において、評価上ポイントとなるケースの津波の時刻歴波形について示すこと。	第390回審査会合「津波評価」においてご説明
28.1.22	審査会合	320	164	津波	大すべり域の位置と破壊開始点の関係が基準津波の選定に影響がないか確認すること。	第390回審査会合「津波評価」においてご説明
28.1.22	審査会合	320	165	津波	防波堤の有無が基準津波の選定に影響がないか確認すること。	第390回審査会合「津波評価」においてご説明
28.1.22	審査会合	320	166	津波	茨城県沖から房総沖に想定する津波波源(Mw8.7)について、杉野他(2014)の方法で設定した場合の影響を検討すること。	第390回審査会合「津波評価」においてご説明
28.1.22	審査会合	320	167	津波	日本海溝の海溝軸よりも沖合いについて海底火山(ブチスポット)に関する情報を収集し、検討すること。	第390回審査会合「津波評価」においてご説明
28.1.22	審査会合	320	168	津波	ハワイ付近の海底地すべりについて、情報を収集し、検討すること。	第390回審査会合「津波評価」においてご説明
28.1.29	審査会合	324	169	震源特定地震動(プレート内)	中央防災会議(2013)を採用した根拠を明記するとともに、震源モデルのずれの方向を横ずれとしていることについてさらに説明性を向上すること。	第360回審査会合「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
28.1.29	審査会合	324	170	震源特定地震動(プレート内)	アスペリティを移動させ等価震源距離を併記することで、断層設定位置が適切な位置となっていることを示すこと。	第360回審査会合「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
28.1.29	審査会合	324	171	震源特定地震動(プレート内)	断層傾斜角やアスペリティ位置等、海洋プレート内地震として考慮すべき不確かさ項目について想定の妥当性を踏まえて整理すること。	第360回審査会合「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
28.1.29	審査会合	324	172	震源特定地震動(プレート内)	基本震源モデルの規模M7.3の妥当性をより詳細に説明すること。	第360回審査会合「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
28.2.2	ヒアリング	27	173	敷地周辺及び近傍	芦間町南方露頭 について、不整合面と断層の関係など、活動性に係る記載をより分かりやすく示すこと。	ヒアリング 28「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
28.2.2	ヒアリング	27	174	敷地周辺及び近傍	天神林町のM1段丘面に関する検討について、南方で実施した反射法地震探査結果との関係を分かるように示すこと。	ヒアリング 28「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明

東海第二発電所 地震等に係る新規規制基準適合性審査に関するコメントリスト

日付	ヒアリング / 審査会合	回次	コメント	資料名	コメント内容	回答
28.2.2	ヒアリング	27	175	敷地周辺及び近傍	F1断層と北方陸域の断層の同時活動性評価について、以下の情報についても資料に追加すること。 ・塩ノ平断層と井戸沢断層沿いに出現した地震断層の出現範囲について ・井戸沢断層に関する基礎情報について	ヒアリング 28 「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
28.2.2	ヒアリング	27	176	敷地周辺及び近傍	海域断層のAグループの活動性評価のまとめの記載について、F13断層の個別評価と整合するように修正すること。	ヒアリング 28 「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
28.2.2	ヒアリング	27	177	敷地周辺及び近傍	「将来活動する可能性のある断層等」について、「震源として考慮する活断層」へ修正すること。	ヒアリング 28 「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
28.2.2	ヒアリング	27	178	敷地周辺及び近傍	各章の冒頭に評価のまとめを記載する等、分かりやすく整理すること	ヒアリング 28 「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
28.2.26	審査会合	334	179	敷地周辺及び近傍	棚倉破砕帯の地震動評価において、周辺の震源分布との対応も含めて検討すること。	第394回審査会合「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
28.2.26	審査会合	334	180	敷地周辺及び近傍	赤城水沼9,10テフラの降灰年代について、東茨城台地の地質層序との整合性も踏まえて、説明すること。	第364回審査会合「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
28.2.26	審査会合	334	181	敷地周辺及び近傍	東茨城台地周辺の段丘堆積物の形成年代等の検討にあたっては、山元(2013)等の最新の知見も整理すること。	第364回審査会合「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
28.2.26	審査会合	334	182	敷地周辺及び近傍	5万分の1図幅「磯浜」「那珂湊」に記載のある大谷川沿いの非構造性の小断層について説明すると共に、その他の地域の地質断層についても説明すること。	第364回審査会合「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
28.2.26	審査会合	334	183	敷地周辺及び近傍	海域断層のグループ化について、その必要性を踏まえて再検討すること。	第364回審査会合「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
28.2.26	審査会合	334	184	敷地周辺及び近傍	F1断層と北方陸域断層の同時活動性評価における塩ノ平地震断層の取り扱いについて検討すること。	第364回審査会合「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
28.2.26	審査会合	334	185	敷地周辺及び近傍	「5万分の1地質図幅「竹貫」(1973)」に記載されている馬場平断層について説明すること。	第364回審査会合「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
28.3.4	審査会合	336	186	震源特定地震動(プレート間)	地震動評価では東北地方太平洋沖地震を検討用地震に選定している一方で、津波評価では、これとは異なる茨城沖～房総沖の一部の領域による津波を検討対象に選定していることを踏まえ、検討用地震の選定の考え方について、津波地震との指摘もある1677年磐城・常陸・安房・上総・下総の地震の扱いも含めて整理して説明すること。	第358回審査会合「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
28.3.4	審査会合	336	187	震源特定地震動(プレート間)	統計的グリーン関数法による評価について、最新の地盤モデルを用い評価すること。	第358回審査会合「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
28.3.4	審査会合	336	188	震源特定地震動(プレート間)	諸井ほか(2013)に示されているアスペリティ面積比0.08とした場合の、断層パラメータの設定結果を示すこと。	第358回審査会合「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
28.3.4	審査会合	336	189	震源特定地震動(プレート間)	応答スペクトルに基づく評価では、東北地方太平洋沖地震における敷地での解放基盤波(観測記録)を評価結果として採用しているが、一部周期帯で断層モデル手法による評価結果を上回っていることを踏まえ、不確かさの考慮について検討すること。	第358回審査会合「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
28.3.4	審査会合	336	190	震源特定地震動(プレート間)	断層モデルによる手法において、強震動生成域の位置の不確かさと短周期レベルの不確かさの重畳について考慮が必要か検討すること。	第358回審査会合「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
28.3.4	審査会合	336	191	震源特定地震動(プレート間)	フィリピン海プレートが陸のプレートと太平洋プレートの境界で発生する地震に対して破壊進展のバリアになることについて説明性を向上させること。	第358回審査会合「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
28.3.8	ヒアリング	30	192	震源特定地震動(プレート内)	アスペリティ位置をプレートの上端に設定するケースについて、敷地への影響の観点も踏まえ不確かさの要否について検討すること。	ヒアリング 34 「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
28.3.8	ヒアリング	30	193	震源特定地震動(プレート内)	断層傾斜角の不確かさのモデルについて、ディレクティブティ効果が表れているかを検討すること。	ヒアリング 34 「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
28.3.8	ヒアリング	30	194	震源特定地震動(プレート内)	不確かさケースとしての地震規模の設定において、中央防災会議(M7.3)以外の知見の考慮の必要性について検討すること。	ヒアリング 34 「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
28.3.8	ヒアリング	30	195	震源特定地震動(プレート内)	断層設定位置の妥当性に関する検討において、平面図も併記し説明すること。	ヒアリング 34 「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
28.3.8	ヒアリング	30	196	震源特定地震動(プレート内)	中央防災会議(2013)による知見として採用した項目について、説明が必要なものを追記し採用した理由を明記すること。また中央防災会議(2004)採用時からすべり角を変更したことによる地震動への影響について説明すること。	ヒアリング 34 「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
28.3.8	ヒアリング	30	197	震源特定地震動(プレート内)	検討用地震の選定において、関東諸国の地震や中央防災会議(2013)による震源についての説明を追加すること。	ヒアリング 34 「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
28.4.11	ヒアリング	31	198	震源特定地震動(プレート間)	フィリピン海プレートが破壊の伝播のバリアとなり、それより南では強震動が発生しにくいことについて説明性を向上させること。	ヒアリング 32 「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
28.4.11	ヒアリング	31	199	震源特定地震動(プレート間)	異なるプレート間で発生する地震のすべりの方向が異なる根拠について、説明を加えること。	ヒアリング 32 「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明

東海第二発電所 地震等に係る新規制基準適合性審査に関するコメントリスト

日付	ヒアリング / 審査会合	回次	コメント	資料名	コメント内容	回答
28.4.11	ヒアリング	31	200	震源特定地震動 (プレート間)	1677年延宝の地震について、津波評価における扱いを津波の審査で説明すること。	ヒアリング 36「津波評価」においてご説明
28.4.11	ヒアリング	31	201	震源特定地震動 (プレート間)	応答スペクトル手法における解放基盤波の包絡スペクトル設定の考え方を説明すること。	ヒアリング 32「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
28.4.11	ヒアリング	31	202	震源特定地震動 (プレート間)	東北地方太平洋沖地震の解放基盤波の妥当性を確認できる資料を加えること。	ヒアリング 32「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
28.4.11	ヒアリング	31	203	震源特定地震動 (プレート間)	断層モデル手法の計算結果については速度時刻歴波形も示すこと。	ヒアリング 32「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
28.4.19	ヒアリング	33	204	敷地周辺及び近傍	F1～北方陸域断層と塩ノ平断層の同時活動の考え方及び具体的な長さを示すこと。	ヒアリング 35「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
28.4.19	ヒアリング	33	205	敷地周辺及び近傍	澗沼周辺の非構造性の表層滑落について、周囲の地形情報及び地質名等を追記すること。	ヒアリング 35「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
28.4.19	ヒアリング	33	206	敷地周辺及び近傍	5万分の1地質図幅「磯浜」についても断層の状況を資料に記載すること。	ヒアリング 35「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
28.5.9	ヒアリング	35	207	敷地周辺及び近傍	澗沼周辺の小断層について、円弧状であることが分かるように記載を見直すこと。また露頭の方が分かるように写真撮影方向等を追記すること。	ヒアリング 37「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
28.5.9	ヒアリング	35	208	敷地周辺及び近傍	同時活動性評価に関連して、塩ノ平地震断層トレースのエビデンスを明確にすると共に、結論を踏まえ資料の全体構成を見直すこと。	ヒアリング 37「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
28.5.9	ヒアリング	35	209	敷地周辺及び近傍	断層評価の一覧表において、申請時からの変更点を明示すること。	ヒアリング 37「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
28.5.18	ヒアリング	36	210	津波	茨城県沖に津波波源を想定する根拠を明記すること。	ヒアリング 39「津波評価」においてご説明
28.5.18	ヒアリング	36	211	津波	大すべり域設定にあたって考慮している固着の程度に関する検討結果について、海溝軸直交方向の検討だけではなく、海溝軸方向の検討も追記すること。	ヒアリング 39「津波評価」においてご説明
28.5.18	ヒアリング	36	212	津波	ダイナミックオーバーシュートについての考え方や位置付けを整理すること。	ヒアリング 39「津波評価」においてご説明
28.5.18	ヒアリング	36	213	津波	概略パラメータスタディでは大きな最大水位上昇量が求められているが、この水位は最終的な評価には残されていない。この概略パラメータスタディ評価結果の位置付けを明確にするとともに、詳細検討でも同時破壊のケースを検討する必要はないか、考え方を整理すること。	ヒアリング 39「津波評価」においてご説明
28.5.18	ヒアリング	37	214	敷地周辺及び近傍	海域のF11断層の取扱いについて再検討すること。	第364回審査会合「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
28.5.18	ヒアリング	37	215	敷地周辺及び近傍	赤城水沼9.10テフラの降灰年代に関する記載を見直すことと、東茨城台地の地殻変動に関する見解を示している山元(2013)の内容についても追記すること。	第364回審査会合「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
28.5.27	審査会合	364	216	敷地周辺及び近傍	F1断層、北方陸域の断層、塩ノ平地震断層の運動の北端の設定根拠については、塩ノ平地震断層北方に指摘されているリニアメントも含め、これまでの調査結果を整理した上で明記すること。	第381回審査会合「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
28.5.27	審査会合	364	217	敷地周辺及び近傍	F11断層については、地形地質の状況を踏まえて、地震動評価において説明すること。	第381回審査会合「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
28.6.6	ヒアリング	38	218	敷地周辺及び近傍	文献が塩ノ平地震断層の北方に示すリニアメントの調査結果については、塩ノ平地震断層の北端に関する箇所に記載すること。	ヒアリング 41「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
28.6.6	ヒアリング	38	219	敷地周辺及び近傍	塩ノ平地震断層付近の余震分布の位置付けを明確にすると共に、他機関の研究結果も参考とすること。	ヒアリング 41「敷地周辺及び近傍の地質・地質構造」においてご説明
28.6.14	ヒアリング	39	220	津波	概略パラメータスタディ(同時破壊)の結果を評価に取り入れない理由について、津波評価全体で考慮している保守性も含めて説明すること。	ヒアリング 42「津波評価」においてご説明
28.6.14	ヒアリング	39	221	津波	ライズタイムの設定の根拠(妥当性)について検討し、資料に記載すること。	ヒアリング 42「津波評価」においてご説明
28.6.29	ヒアリング	40	222	敷地	反射法地震探査記録及び柱状図を資料に追加すること。	ヒアリング 46「敷地の地質・地質構造」においてご説明
28.6.29	ヒアリング	40	223	敷地	久米層に断層がないとの結論を明記すること。	ヒアリング 46「敷地の地質・地質構造」においてご説明
28.6.29	ヒアリング	40	224	敷地	新規で実施したボーリングコアの癒着して固結した面構造の写真を掲載すること。	ヒアリング 46「敷地の地質・地質構造」においてご説明
28.6.29	ヒアリング	40	225	敷地	久米層の構造について、より分かりやすくなるよう検討すること。 ・久米層の岩相区分を削除する等、簡略化できないか検討すること。 ・ユニット境界上限深度が平面的に把握できる資料を検討すること。 ・主要な鍵層のコンター図を示すこと。	ヒアリング 46「敷地の地質・地質構造」においてご説明
28.7.28	ヒアリング	43	226	震源特定地震動 (内陸)	アスぺリティ位置の設定について、断層上端に配置している根拠を説明すること。また、平面方向に1メッシュ空けている根拠を説明すること。	ヒアリング 44「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
28.7.28	ヒアリング	43	227	震源特定地震動 (内陸)	GNSSを用いた検討について、2000年あたりからの歪み変化の傾向を確認するため、解析の開始時期をよりさかのぼって示すこと。	ヒアリング 44「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
28.7.28	ヒアリング	43	228	震源特定地震動 (内陸)	気象庁カタログデータについては最新のものをを用いて期間を更新すること。	ヒアリング 44「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明

東海第二発電所 地震等に係る新規制基準適合性審査に関するコメントリスト

日付	ヒアリング / 審査会合	回次	コメント	資料名	コメント内容	回答
28.7.28	ヒアリング	43	229	震源特定地震動(内陸)	震源パラメータのうち、密度、Vsについて設定根拠を説明すること。	ヒアリング 44「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
28.8.22	ヒアリング	45	230	震源特定せず	M6.5以上の地震における地域差の比較での東海第二発電所の特徴については、陸域のみでなく海域についても記載すること。	ヒアリング 47「震源を特定せず策定する地震動」においてご説明
28.8.22	ヒアリング	45	231	震源特定せず	地域差の比較については他電力の記載を参考とし、各地震毎に比較すると共に、要点を明確にすること。	ヒアリング 47「震源を特定せず策定する地震動」においてご説明
28.8.22	ヒアリング	45	232	震源特定せず	敷地が位置する地震地体構造区分において、垣見ほか(2003)による特徴に対し、敷地周辺の地震発生状況の考え方を整理すること。	ヒアリング 47「震源を特定せず策定する地震動」においてご説明
28.8.22	ヒアリング	45	233	震源特定せず	加藤ほか(2004)の位置付けについて明確にすること。	第409回審査会合「震源を特定せず策定する地震動」においてご説明
28.8.26	審査会合	394	234	震源特定地震動(内陸)	応答スペクトル手法に用いる鉛直成分の補正係数において、観測記録の平均値を一部周期帯でカバーしていないことについて、その妥当性を示すこと。	第404回審査会合「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
28.8.26	審査会合	394	235	震源特定地震動(内陸)	アスペリティ位置は敷地に近い位置に設定する方針としているものの、断層の端点とアスペリティの間に背景領域を設けている根拠を説明すること。	第404回審査会合「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
28.8.26	審査会合	394	236	震源特定地震動(内陸)	断層上端にアスペリティを配置することが保守的であるかを示すこと。	第404回審査会合「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
28.8.26	審査会合	394	237	震源特定地震動(内陸)	破壊開始点について、アスペリティの下端以外にも、物理的観点に基づけば断層下端からの破壊も考えられることからこの影響検討をすること。	第404回審査会合「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
28.8.26	審査会合	394	238	震源特定地震動(内陸)	検討用地震の震源断層は、最新の強震動予測レシピに基づけばFujii and Matsu'ura(2000)等の適用外であるが、断層モデルを用いた地震動評価ではこれらの知見に基づいてパラメータ設定していることの妥当性を示すこと。	第404回審査会合「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
28.8.26	審査会合	394	239	震源特定地震動(内陸)	要素地震のコーナー周波数を示すこと。	第404回審査会合「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
28.9.12	ヒアリング	48	240	震源特定地震動(内陸)	応答スペクトル手法に用いる補正係数について、設定の妥当性を再検討するとともに、断層モデル手法との対応関係について具体的に示すこと。	第404回審査会合「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
28.9.12	ヒアリング	48	241	震源特定地震動(内陸)	影響確認用として設定したすべての破壊開始点を対象に、アスペリティからの波の重なり合い具合について示すこと。	第404回審査会合「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
28.9.12	ヒアリング	48	242	震源特定地震動(内陸)	アスペリティを断層の端部に設定したケースについて、不確かさの要否を検討すること。	第404回審査会合「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」においてご説明
28.9.13	ヒアリング	49	243	火山	火山の活動年代や規模について、同一火山を対象としているプラントとの整合性を整理すること。	ヒアリング 51「火山影響評価」においてご説明
28.9.13	ヒアリング	49	244	火山	降下火砕物の評価において、同規模噴火の可能性がないとした広域テフラについて等層厚線分布図を示すこと。	ヒアリング 51「火山影響評価」においてご説明
28.9.13	ヒアリング	49	245	火山	降下火砕物シミュレーションの対象として赤城山を選定したことの理由について、補足すること。	ヒアリング 51「火山影響評価」においてご説明
28.9.16	審査会合	402	246	敷地	「将来活動する可能性のある断層等」が無い。」と判断したプロセスをより丁寧に記載すること。	ヒアリング 62「敷地の地質・地質構造」においてご説明
28.9.16	審査会合	402	247	敷地	微化石分析結果について、年代区分を決定したエビデンスを示すこと。	ヒアリング 62「敷地の地質・地質構造」においてご説明
28.9.16	審査会合	402	248	敷地	侵食境界の認定のプロセスを明記すること。	ヒアリング 62「敷地の地質・地質構造」においてご説明
28.9.16	審査会合	402	249	敷地	反射地震探査結果については、時間断面の記録も示すこと。	ヒアリング 62「敷地の地質・地質構造」においてご説明
28.9.16	審査会合	402	250	敷地	地質断面図の凡例を適正化すること。	ヒアリング 62「敷地の地質・地質構造」においてご説明
28.9.16	審査会合	402	251	敷地	特徴的な鍵層 - 5については、追加分析をすること。	ヒアリング 62「敷地の地質・地質構造」においてご説明
28.10.14	審査会合	409	252	震源特定せず	Mw6.5以上の2地震について、震源域とサイトとの異なる点の総括をまとめて記載すること。	次回以降ご説明(震源を特定せず策定する地震動)
28.10.14	審査会合	409	253	震源特定せず	地震地体構造区分の比較について、表現の適正化を図ること。	次回以降ご説明(震源を特定せず策定する地震動)
28.10.21	審査会合	410	254	基準地震動	基準地震動Ss-D1に支配的な震源は内陸地殻内地震だけでなく、プレート間地震の影響も大きいことから、振幅包絡線の設定に関してはプレート間地震の影響も考慮したものを検討すること。	第414回審査会合「基準地震動Ssの策定」においてご説明
28.10.21	審査会合	410	255	基準地震動	内陸地殻内地震の断層モデルによる基準地震動について、申請時の評価結果と比較して、関係を整理すること。	第414回審査会合「基準地震動Ssの策定」においてご説明
28.10.21	審査会合	410	256	地下構造	震源を特定せず策定する地震動(2004年北海道留萌支庁南部地震)の評価において、東海第二発電所の地盤物性をを用いた検討での地盤モデルによる統計的グリーン関数法を実施し影響を確認すること。	ヒアリング 54「地下構造評価」においてご説明
28.11.11	審査会合	414	257	基準地震動	敷地の解放基盤表面が深いことを踏まえ、基準地震動に基づく建屋基礎レベルでの地震動を示すこと。	ヒアリング 58「基準地震動Ssの策定」においてご説明
28.12.19	ヒアリング	55	258	津波	津波地震及び海洋プレート内の正断層地震のロジックツリーにおいて、地震規模と平均発生間隔との組み合わせに関する考え方を説明すること。	ヒアリング 59「津波評価」においてご説明

東海第二発電所 地震等に係る新規規制基準適合性審査に関するコメントリスト

日付	ヒアリング / 審査会合	回次	コメント	資料名	コメント内容	回答
28.12.19	ヒアリング	55	259	津波	2011年東北地方太平洋沖地震の震源域(三陸沖中部～福島県沖)のプレート間地震及び津波地震における取扱いについてより詳細な説明を加えること。	ヒアリング59「津波評価」においてご説明
28.12.19	ヒアリング	55	260	津波	一様すべり矩形モデルにおけるJNES(2014)に基づくばらつきの設定方法について、その考え方を確認し、検討すること。	ヒアリング59「津波評価」においてご説明
28.12.19	ヒアリング	55	261	津波	遠地津波による年超過確率への影響を確認すること。	ヒアリング59「津波評価」においてご説明
28.12.19	ヒアリング	55	262	津波	基準津波となったMw8.7の波源モデルを年超過確率の参照において考慮していないことについてより詳細な説明を加えること。	ヒアリング59「津波評価」においてご説明
28.12.19	ヒアリング	55	263	津波	ハザード曲線の算定方法を記載すること。	ヒアリング59「津波評価」においてご説明
28.12.19	ヒアリング	55	264	津波	安全性評価(砂移動評価)について、先行他施設の審査会合における審議を参考に資料を適切に追加すること。	ヒアリング59「津波評価」においてご説明
29.1.10	ヒアリング	56	265	火山	申請時から層厚の評価を見直した理由及びシミュレーションの位置付けを資料に明記すること。	ヒアリング57「火山影響評価」においてご説明
29.1.10	ヒアリング	56	266	火山	同規模噴火の可能性の検討において御嶽山等の活動履歴について、各活動ステージ毎の主要な噴出物がわかるよう表現を見直すこと。	ヒアリング57「火山影響評価」においてご説明
29.1.10	ヒアリング	56	267	火山	赤城鹿沼テフラの等層厚線が示される文献(町田・新井(2011)及び山元(2013))の整合性を検討すること。	ヒアリング57「火山影響評価」においてご説明
29.1.17	ヒアリング	58	268	地震 ハザード	東北地方太平洋沖型の地震の考慮について検討すること。	ヒアリング60「地震動評価(年超過確率の参照)」においてご説明
29.1.17	ヒアリング	58	269	地震 ハザード	調査モデルにおける短い活断層について、M6.8を考慮すること。	ヒアリング60「地震動評価(年超過確率の参照)」においてご説明
29.1.20	審査会合	432	270	火山	同規模の噴火の可能性の検討結果のうち箱根火山群の評価について、活動ステージに関する詳細な情報を追加すること。	ヒアリング65「火山影響評価」においてご説明
29.1.20	審査会合	432	271	火山	降下火砕物の評価においては敷地周辺での層厚のバラツキも考慮して評価すること。また、不確かさを考慮したシミュレーションの実施についても検討すること。	ヒアリング65「火山影響評価」においてご説明
29.1.20	審査会合	432	272	火山	シミュレーションの噴出量及び関連するパラメータについて他の最新知見も踏まえ、再検討すること。	ヒアリング65「火山影響評価」においてご説明
29.1.20	審査会合	432	273	火山	火山の個別評価について歴史噴火を記載する等、記載を充実させること。特に赤城山については、ダイヤグラムの詳細化についても検討すること。	ヒアリング65「火山影響評価」においてご説明
29.1.20	審査会合	432	274	火山	火山から発電所の距離と同じ距離での降灰分布の事例があれば示すこと。	ヒアリング65「火山影響評価」においてご説明
29.2.3	審査会合	439	275	津波	津波堆積物に関する文献について、詳細に示すこと。	ヒアリング61「津波評価(津波堆積物に関する文献調査)」においてご説明
29.2.3	審査会合	439	276	津波	プレート間地震のロジックツリーにおける基準津波の波源(Mw8.7)の取扱いについて、検討すること。	ヒアリング63「津波評価(基準津波の年超過確率の参照)」においてご説明
29.2.3	審査会合	439	277	津波	2011年東北地方太平洋沖地震の発生確率について、具体的に示すこと。	ヒアリング63「津波評価(基準津波の年超過確率の参照)」においてご説明
29.2.3	審査会合	439	278	津波	東北地方太平洋沖型の地震の発生領域でのM8クラスの地震がハザードに与える影響を示すこと。	ヒアリング63「津波評価(基準津波の年超過確率の参照)」においてご説明
29.2.3	審査会合	439	279	津波	海洋プレート内の正断層地震のロジックツリーの設定(地震規模、平均発生間隔、重み配分)について検討すること。	ヒアリング63「津波評価(基準津波の年超過確率の参照)」においてご説明
29.2.3	審査会合	439	280	津波	海洋プレート内の正断層地震については、敷地前面と基準津波策定位置では異なる傾向を示すことから、追加説明すること。	ヒアリング63「津波評価(基準津波の年超過確率の参照)」においてご説明
29.2.3	審査会合	439	281	津波	矩形断層モデルに、誤差の対数標準偏差のばらつきに関する最新知見を評価に取り入れるることについて、関連情報を再整理し、あらためて説明すること。	ヒアリング63「津波評価(基準津波の年超過確率の参照)」においてご説明
29.2.13	現地調査		282	敷地	孔深度-270m付近等、ユニット境界の基底付近が傾斜していることについて記載の充実化を図ること。	ヒアリング65「敷地の地質・地質構造」においてご説明
29.2.13	現地調査		283	火山	東海駅露頭は、対象観察面以外にもテフラが確認できることから、さらに観察面を広げ、立体的な堆積状況を確認すること。	ヒアリング65「火山影響評価」においてご説明
29.2.13	現地調査		284	火山	HTTR敷地内の赤城鹿沼テフラの粒度分布を確認すること。	ヒアリング65「火山影響評価」においてご説明
29.2.13	現地調査		285	敷地周辺及び近傍	洞沼周辺の小断層が表層滑落によるものとした根拠として、正断層の間にある逆断層系についても追記し、説明の充実化を図ること。	次回以降ご説明(敷地周辺及び近傍の地質・地質構造)
29.2.22	ヒアリング	61	286	津波	1677年延宝房総沖地震の痕跡高に関する最新の文献(Yanagisawa et al. (2016))を調査し、痕跡との比較を含めて、基準津波への影響を確認すること。	ヒアリング64「津波評価(津波堆積物に関する文献調査)」においてご説明
29.3.7	ヒアリング	62	287	敷地	特徴的な鍵層 - 5の追加分析結果を回答骨子に記載すること。	ヒアリング65「敷地の地質・地質構造」においてご説明
29.3.7	ヒアリング	62	288	敷地	東海第二～JAEA敷地に連続して分布する鍵層について、断面図で連続していることをより分かりやすくする等、さらに記載を充実させること。	ヒアリング65「敷地の地質・地質構造」においてご説明
29.3.14	ヒアリング	63	289	津波	ロジックツリーのマグニチュード範囲と平均発生間隔の関係(たすき掛け)について、設定根拠を追記すること。	ヒアリング64「津波評価(基準津波の年超過確率の参照)」においてご説明

東海第二発電所 地震等に係る新規制基準適合性審査に関するコメントリスト

日付	ヒアリング / 審査会合	回次	コメント	資料名	コメント内容	回答
29.3.14	ヒアリング	63	290	津波	海洋プレート内の正断層地震が敷地前面と基準津波策定位置では異なる傾向を示すことについて、確定論の傾向も示して説明すること。	ヒアリング64「津波評価（基準津波の年超過確率の参照）」においてご説明